

今月の表紙

11月26日、池袋・東京芸術劇場大ホールの会場を埋め尽くした1,600人の観客は、約230人の大合唱団の歌声に酔いしれました。今回の「佐渡を歌うコンサート」は、佐渡市の誕生とアミューズメント佐渡の開館10周年を記念して、実行委員長の飯野淳也先生と指揮者の故 辻正行先生そして辻秀幸先生を中心に、10の合唱団の心が一つになって実現しました。合唱組曲「佐渡の四季」に始まり、最後は観客も一緒に「ふるさと」の大合唱。心に残ったフレーズは、「ほほえみをありがとう」でした。



中国と佐渡の トキ野生復帰交流会

今後のトキ野生復帰の取り組みに生かすため、佐渡市と友好交流を結んでいる中国陝西省洋県の方に、中国におけるトキ野生復帰の現状について講演していただきます。また、今年度から建設の始まるトキ野生順化施設建設計画について説明します。トキと共生する島「佐渡」の実現に向けて、皆さんのご参加をお願いします。

■日 時 12月21日(火) 午後1時
 ■会 場 トキのむら元気館
 ■問い合わせ先
 佐渡トキ保護センター ☎24-6151

平成16年度 コミュニティ助成事業

潟上鬼太鼓保存会(新穂地区)では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、太鼓、提灯、獅子頭、獅子衣装を整備しました。

潟上鬼太鼓保存会では、今回の助成で長らく途絶えていた獅子を復活させることができました。今後はこれを活用し、コミュニティ活動の更なる活性化を図っていくことにしています。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

※コミュニティ助成事業とは、
 (財)自治総合センターが、自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とし、宝くじの普及広報を行うとともにコミュニティの健全な発展を図ることを目的に様々なコミュニティ活動に助成を行うものです。

おわびと訂正

市報さど11月号18ページに掲載しました、住宅用ソーラーシステム補助制度の問い合わせ先、**新エネルギー財団**の電話番号は、「03-5275-9566」の誤りでした。おわびして訂正します。

佐渡市役所の専用郵便番号ができました

〒952-1292

市役所(本庁)へ郵便物を出す場合は、この専用郵便番号と市役所のあて名を記載していただくと、住所の記載を省略できます。

編集後記

11月1日、中越大地震の被害による混乱が続くなか、魚沼市と南魚沼市が誕生しました。その南魚沼市から「市報みなみ魚沼」創刊号が届き、手にとってみると、なんとその表紙には生まれたばかりの赤ちゃんの顔が……。おそろくこの記念すべき11月1日に、この世に生を受けた赤ちゃんなのでしよう。この赤ちゃんの笑顔がとてもかわいい。この表紙を見てみると、広報担当者が、被災された新しい市民に元気を贈ろうとした気持ち伝わってきます。災害対策に当たりながら、広報を編集したことは本当に大変だったろうなあ。それに比べれば私はまだ恵まれているんだなあ。元気をくれた、この赤ちゃんの笑顔と南魚沼市の広報マンに感謝して、来年もがんばろうと思います。それにしても本当に早い10か月でした。

11月25日(木)に、南片辺トンネルが開通しました。実際に通ってみると、なかなか出口が見えず、とても長いトンネルです。これまで交通が不便であった所が、スムーズに通れるようになり、高千穂・外海地区の方には大変便利になると思います。ただ、今までは、険しくて注意して走っていた所が、ついつい油断しがちです。安全運転を心がけましょう。それでは皆さん良いお年を。

11月1日、中越大地震の被害による混乱が続くなか、魚沼市と南魚沼市が誕生しました。その南魚沼市から「市報みなみ魚沼」創刊号が届き、手にとってみると、なんとその表紙には生まれたばかりの赤ちゃんの顔が……。おそろくこの記念すべき11月1日に、この世に生を受けた赤ちゃんなのでしよう。この赤ちゃんの笑顔がとてもかわいい。この表紙を見てみると、広報担当者が、被災された新しい市民に元気を贈ろうとした気持ち伝わってきます。災害対策に当たりながら、広報を編集したことは本当に大変だったろうなあ。それに比べれば私はまだ恵まれているんだなあ。元気をくれた、この赤ちゃんの笑顔と南魚沼市の広報マンに感謝して、来年もがんばろうと思います。それにしても本当に早い10か月でした。